

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	みらいず行徳
住 所	千葉県市川市行徳駅前1-1-8 ポートレート1階
電話番号	047-712-7434

事業所番号	1212702128
管理者名	長島 望
対象年度	R6年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		30	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	50	点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15	点
就業規則等で定めている	○		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている	○		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている	○		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
小計（注1）		5	

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0	点
---	---	---	---

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	130	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	21,375	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,271	人	利用者の1日の平均労働時間数	3	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（ 年度）

生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円	収支		円
-----------------	--	---	--------------	--	---	----	--	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	10,203,435	円	利用者に支払った賃金総額	10,198,245	円	収支	5,190	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	26,446,058	円	利用者に支払った賃金総額	26,365,085	円	収支	80,973	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☐
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	☒
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	JC-NET ジョブコーチ養成研修
研修講師	小川/稲葉/西村/千田
実施日・受講者数	11月9日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	株式会社 ジルベルト
実施日/参加者数	11月16日 1人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	フランチャイズ・ショー 2025
主催者名	日本経済新聞社
日時	3月6日
内容	各種フランチャイズビジネスの商談会

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	☒
⑤当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	R5年2月1日
人事評価制度の対象職員数	4名
うち昇給・昇格を行った者	4名
当該人事評価制度の周知方法	書面での提示

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	☒
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☒
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	9:00～18:00
職務内容	職業指導員＋相談受付（サポート等）

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	みらいず行徳
住 所	千葉県市川市行徳駅前1-1-8 ポートレート1階
電話番号	047-712-7434

事業所番号	1212702128
管理者名	長島 望
対象年度	R6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

【活動場所】 みらいず行徳
【実施日程】 令和6年11月～12月
【実施した生産活動・施設外就労の概要】
玉葱の選定作業/箱詰め作業/発送作業
【利用者数】 11名

<目的>

- ◆利用者の社会参加促進
 - ・地域との交流を通じて、利用者が社会の一員としての自覚を持ち、自己肯定感を高める。
 - ・一般就労への移行を目指す上で、地域での実践的な経験を積む機会を提供する。
- ◆地域の理解と共生促進
 - ・事業所の取り組みを地域住民や企業に理解してもらい、障がい者雇用の意義を広める。
 - ・障がい者が活躍できる環境づくりを地域全体で進める。

<成果>

- ◆作業スキルの向上
 - ・野菜の選別・計量・袋詰め・ラベル貼りなど、一連の作業を習得した
 - ・作業の効率化を図ることで、1日あたりの詰込み作業数が2～2.5倍向上。
- ◆就労準備の成果
 - ・チームワークを活かし、分担作業を行うことで職場環境への適応力が向上。
- ◆課題点
 - ・手先の器用さや理解度に応じた個別支援が必要。
 - ・利用者によって作業スピードや正確性に差があり、全体の生産効率に影響。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

◆連携した結果に対する意見または評価

野菜の袋詰め作業は全体的に丁寧で、品質も安定している。
また、事業所との距離も近いため、依頼したいときに即対応していただけるので連携が取りやすい。

◆今後の連携強化に向けた課題

- ・一部の袋に野菜の向きや詰め方のばらつきが見られることがあるため、もう少し統一できると良い。
- ・作業スピードの工場

連携先企業名	株式会社RAG東京	担当者名	(未公開)
--------	-----------	------	-------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	みらいず行徳	事業所番号	1212702128
住 所	千葉県市川市行徳駅前1-1-8 ポートレート1階	管理者名	長島 望
電話番号	047-712-7434	対象年度	R6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 【活動場所】 みらいず行徳 【実施日程】 令和6年11月～12月 【実施した生産活動・施設外就労の概要】 玉葱の選定作業/箱詰め作業/発送作業 【利用者数】 11名	<活動の様子> 
<目的> 1. 選定作業における観察力・判断力の向上 - 玉葱の傷・形・大きさ・色味などを見極める作業を通して、観察力や状態を判断する力を養います。 - 取引先の品質基準に基づいた選別基準を学ぶことで、責任感と商品価値の意識を高めます。 2. 箱詰め作業による手先の器用さ・正確性の向上 - 大きさ・重量のバランスを考慮した丁寧かつ効率的な詰め方を実践することで、作業精度や段取り力を育てます。 - 複数名で作業するため、協力・声かけなどのチームワークも向上します。 3. 発送作業での業務理解と責任感の向上 - 出荷準備や伝票確認、箱の封緘、発送先別の仕分け等を行い、物流の基本的な流れを学びます。 - 作業工程の締め作業に関わることで、自分の作業が全体に与える影響を理解し、責任をもって行動する力を育みます。	
<成果> ■ 実施した成果 - 玉葱の選別から発送までの一連の業務を利用者に実践してもらい、就労に必要な基本的作業能力の向上を支援しました。 - 複数人で協力しながら進める工程を通じて、報連相（報告・連絡・相談）の大切さや、職場での立ち振る舞いについての理解を深めました。 ■ 得られた成果 - 利用者が商品価値（品質や見た目）に対する意識を持ち、正確な選別作業ができるようになってきた。 - 作業スピード・精度の面でも個人差はあるものの、明らかな成長が見られ、支援なしでも一定量の作業がこなせるようになった利用者もいた。 - 利用者から「やりがいがある」「達成感がある」といった声も多く、自信の回復やモチベーションの向上にもつながった。 ■ 課題点 - 玉葱の状態（腐敗・傷み等）の判断が難しく、経験の浅い利用者は選別基準の理解に時間を要した。 - 箱詰め・発送作業において、数量確認の事務的工程に苦手意識を持つ利用者もいた。 - 作業の繰り返しにより集中力が切れやすく、途中でミスが散見されることがあった。 - 一部の利用者にとって、協調作業に対するストレスやコミュニケーションの課題も見られた。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

■ 連携した結果に対する意見・評価 - 企業側との連携により、実際の物流現場に近い作業経験ができ、利用者の就労意欲の向上につながった。 - 利用者が社会の一員として役割を果たしていることを実感できる貴重な機会となった。 - 一方で、対応力や報連相の面ではさらなる訓練が必要との認識を共有することもできた。 ■ 今後の連携強化に向けた課題 - 利用者のスキルや理解度に個人差があるため、より細やかなマッチングが必要。 - 利用者の就労移行を目指す場合、実際の雇用に近い形で作業環境の整備と継続的な評価・フィードバックの仕組みづくりが求められる。	連携先企業（担当者）	株式会社RAG東京（未公開）
---	------------	----------------

利用者からの意見・評価

■ 利用者からの意見・評価 「社会の役に立っていると実感できた」 自分たちが箱詰めした商品が実際に出荷されることで、働く意味ややりがいを感じられたという声がありました。 「最初は難しかったけど、慣れてきたら楽しくなった」 玉葱の状態を見極める作業は難しかったが、回数を重ねるうちにコツをつかみ、自信につながったという意見が多数。 「チームで協力して仕事のできたのがよかった」 他の利用者と声をかけ合いながら作業できたことで、コミュニケーション面でも成長を実感できたという評価。 「就職に向けていい経験になった」 実際の仕事に近い環境で作業できたことが、就労に対する不安の軽減やモチベーション向上につながったという声があった。 「もっとこういう作業をしてみたい」 継続的に実務的な仕事を経験することで、他の作業への興味や挑戦意欲が高まった利用者もいました。
--